

英語コーパス学会ニューズレター No 24

会長 齊藤俊雄

事務局 770-8502 徳島市南常三島町1-1 徳島大学総合科学部 中村純作研究室

TEL 0886-56-7129 FAX 0886-56-7112 (共通教育事務室)

URL [../index.html](http://../index.html)

郵便振替口座 00940-5-250586 (英語コーパス学会)

目次

1. 第13回大会のご案内
2. 『英語コーパス研究』第6号編集進捗状況
3. 新入会員紹介
4. 名簿の訂正のお願い
5. 事務局から

## FORUM

- ◆ 私の講義概要
- ◆ John Sinclair その後

### 1. 第13回大会のご案内

英語コーパス学会第13回大会は、4月17日(土)に四国大学(〒771-1192 徳島市応神町古川 JR徳島駅より徳島バスで約10~15分、四国大学前下車、徒歩3分)で開催されるはこびとなりました。会場校のご好意と古田八恵大会実行委員会のご尽力に感謝いたします。

大会プログラムとレジメを同封いたしますが、今回は研究発表4件と特別講演を準備いたしました。特別講演には、地元徳島のジャストシステムのソフトウェア開発に深く関わっ

てこられた徳島大学工学部知能情報工学科教授青江順一氏をお招きしました。青江先生は、自然言語処理を専門としておられ、約 1 年ほど前にも日経新聞と地元紙で先生が開発された 2 項関係で知識を構築する言語学習ソフトウェアについて紹介されていました。国際的にも数々の論文を発表されており、この 3 月 24 日から 26 日にかけて徳島大学で開催される第 18 回東洋言語の計算機処理国際会議の実行委員長も勤めております。先生にはお忙しい中、貴重な時間をさいていただき、「コーパスを利用した自然言語処理システムの開発」と題した講演をお願いしてあります。工学部的発想によるコーパスの利用法から、我々文科系の研究者も参考になるお話が聞けるものと思います。ご期待ください。

恒例となっている午前中のワークショップでは、西納春雄先生（同志社大学）に「研究者のためのホームページ作成」と題して、WWW 上のホームページの作成法を解説していただく予定です。会員諸氏にホームページを作成していただき、西納先生に管理していただいている本学会のホームページにリンクすることにより、学会の広報活動をより充実することを目的としております。この 3 月に完成する新しい LL 教室で、導入されたばかりのコンピュータを実際に操作しながら、Netscape Communicator を使ったホームページ作りに挑戦してみたいでしょうか。参加希望の方は、あらかじめ事務局宛てに、葉書あるいは電子メールでお申し込みください。先着 30 名（予定）で締め切らせていただきます。英語コーパス学会の会員であれば参加費は無料です。（非会員の場合は参加費 1,000 円）なお、当日の昼食は大学食堂（土・日は休業）に依頼して弁当を準備したいと思っております。ワークショップへの参加希望を申し出る際に、弁当が必要かどうかもお知らせください。

本大会は四国で初めての大会ですので四国大学へのアクセス方法と宿泊に関する情報を「事務局より」の欄で取り上げています。あわせてお読み下さい。

## 2. 『英語コーパス研究』第 6 号編集進捗状況

『英語コーパス研究』第 6 号(1999)への投稿状況につきましては、前号のニューズレターでお知らせしたとおりですが、その後の進捗状況は以下のとおりです。

○採用論文：3 名 [Svartvik 氏は除く]， 研究ノート： 2 名， 書評：2 名， 海外レポート：2 名

○不採用 2 名

○辞 退 5 名

現在、査読作業はほとんど終わり、編集作業に入っているところです。審査員の先生方には、学年末を控えたお忙しい時期に査読作業を快く引き受けていただき、懇切丁寧なご助言を賜りました。この場を借りまして、厚くお礼申し上げます。発刊まで後わずかとなりま

したが、編集委員一同、最善を尽くす所存でございますので引き続きご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

(『英語コーパス研究』編集委員会)

### 3. 新入会員紹介 (住所・電話番号は、郵送されるニューズレターをご参照ください)

JA ECS Newsletter No. 23 発行以降の新入会員の方は次の通りです (3月5日現在、敬称略)

井出 清 (兵庫県立須磨友が丘高等学校)

(E-Mail address deleted)

井村 誠 (大阪大学大学院)

(E-Mail address deleted)

富山 義弘 (関西大学大学院)

(E-Mail address deleted)

長瀬 真理 (静岡大学)

(E-Mail address deleted)

吉野 貴好 (埼玉純真女子短期大学)

(E-Mail address deleted)

### 4. 名簿の訂正のお願い (住所・電話番号は、郵送されるニューズレターをご参照ください)

◇メールアドレスの変更

水光 雅則

(E-Mail address deleted)

### 5. 事務局から

◇会費納入のお願い

1998年度会費 (一般 4,000 円、学生 3,000 円) 未納の方には郵便振替用紙を同封致しま

すのでお納めください。郵便局発行の受領証をもって領収書に代えさせていただきます。  
1997 年度会費未納の方は、1998 年度分と合わせてお納めください（振替用紙にその旨記して  
おります）。行き違いになりました場合は、何とぞご容赦ください。2 年続けて会費未納  
の場合、JAECS Newsletter 等の送付を中止させていただきます。

1999 年度会費は大会時に徴収させていただきますが、郵便振替口座（00940-5-250586 英語  
コーパス学会）からも振り込みができます。大会時には事務の混雑も予想されますので、こ  
ちらの方もご利用下さい。なお、住所、所属等に変更や異動のある方は、必ず通信欄にお書  
き添えください。

#### ◇お詫びと訂正のお願い

JAECS Newsletter No. 23 の Forum 欄「新刊情報」で『実践コーパス言語学：英語教師  
のインターネット活用』の共著者である鷹家秀史先生（岡山県立倉敷天城高校）のお名前が  
高家秀史と誤記されており、ご迷惑をおかけしました。事務局の不手際をお詫びするととも  
に、訂正をお願いいたします。

#### ◇入会申込書の JAECS ホームページへのアップロードについて

入会申込書を JAECS ホームページにアップロードしました。今後、新しく入会を希望す  
る方には、ホームページよりダウンロードした申込書のハードコピーをとった上で、直筆で  
署名、事務局に郵送していただくことも可能になりました。新しい会員をお誘いする時には、  
このことも付け加えて頂ければ幸いです。

#### ◇JAECS の Logotype 募集について

JAECS Newsletter No. 23 で Logotype のデザインの募集をしましたが、現在のところ、  
柳朋宏氏（名古屋大学大学院）より 1 件応募が届いております。事務局としては、もう少し  
応募状況を見た上で、最終的に運営委員会に諮り決定したいと思っております。学会のホー  
ムページや公式文書を飾る Logotype です。グラフィックスやイラストに興味をお持ちの方、  
是非、ご応募下さい。事務局まで、メールの添付文書（Word97 の doc ファイル）としてお  
送り下さい。

#### ◇四国大学へのアクセスについて

第 13 回大会は、初めての四国での大会になりますので、交通の便について少し触れてお  
きます。関西地区に在住の会員の先生方には、明石大橋、鳴門大橋経由の高速バスを利用な  
さることをお勧めします。大阪梅田のホテル阪神前、JR 三宮駅前、高速舞子停留所より、  
JR 徳島駅前行きのバスにお乗りください。3 月より京都駅前よりの 6 便も増設されました。  
ちなみに、京都からは約 2 時間 50 分、梅田から約 2 時間 30 分、三宮から 1 時間 50 分、

高速舞子より JR 徳島駅前までは約 1 時間 20 分程度かかりますが、関西地区からは日帰りも可能です。バスの時刻表を同封いたしましたので、時間をお確かめの上あらかじめ乗車券をお求めください。行楽シーズンですので予約がない場合には、当該の便に乗れない可能性もあります。JR バスをご利用の場合にはお近くの緑の窓口で乗車券をお求めください。(高速舞子で JR より乗り換えの場合には、10 分程度の時間的余裕が必要です。) この 1 月に会場校への挨拶に来ていただいた齊藤会長も、バスの便の快適さに感心しておられました。

関東地区の先生方には、飛行機の便をお勧めします。羽田空港より全日空(2 便)、日本エアシステム(4 便)が利用でき、片道 1 時間足らずで徳島空港に着きます。朝の早い便に乗りますと大会にはゆっくりと間に合います。期間にもよりますが、早割り制度を利用すると最大 50%引きになりますので、JR 利用よりずっと安くつきます。空港よりバスで JR 徳島駅まで約 20 分です。

名古屋方面からは中日本エアライン 2 便が利用できます。こちらは、朝の早い便を利用しますとワークショップにも間に合いそうです。

東方面から新幹線ご利用の先生方は、新神戸で下車、徳島行き的高速バスに乗り換え約 2 時間で JR 徳島駅に到着します。西方面からは、岡山下車、直通の徳島行き特急、あるいは、瀬戸大橋線で高松へ出て、徳島行き特急が便利だと思います。岡山からは直通で約 2 時間です。

JR 徳島駅からは、徳島バスに乗り換えて約 10?15 分で四国大学前につきます。参考のためバスの時刻表を同封しました。吉野川を渡った最初の停留所で降りて、徒歩 3 分で大学につきます。大会終了後と懇親会終了後にはスクールバスを準備しておりますのでご利用下さい。

当日、あるいは前泊をご希望の先生方は、事務局までその旨メールをお送りください。ご希望により、ホテルあるいは旅館をお世話させていただきます。ホテルの場合、徳島大学を通じて宿泊をすれば、2 割~3 割引きになります。ちなみに、徳島城公園に近いパークホテルでは、1 泊素泊まりで 5,740 円に税・サービス料+新聞料金となります。

#### ◇その他

事務局では、シンポジウムやワークショップの企画・アイデアを随時募集しております。最近ワークショップの内容がマンネリ化してきているとの意見もあり、新しい企画が待たれます。英語コーパス学会の大会プログラムとしてふさわしい内容のものがありましたら、どしどしご提案ください。

FORUM 欄への投稿もお待ちしております。海外の学会・研究の動向、新刊・近刊図書の紹介、身近なコーパス研究のエピソード等でも結構ですのでお寄せください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## FORUM

### ◆ 私の講義概要

京都外国語大学 赤野一郎

本学で情報処理教育が始まって 10 数年になる。数台のパソコンに対して受講者が 40 名という、今では想像もつかない環境だった。その頃はコンピュータに触ること自体が情報処理教育であった。その後少しずつ環境を整えてきたが、他大学の施設に比べればお粗末なものである。誇れるのは、ハードウェアの充実と並行して進めてきた情報処理科目の豊富さである。

1・2 回生対象の基礎科目である「コンピュータ・リテラシー」から始まって、「経営情報システム」「地域情報」「情報検索演習」「情報処理演習」「コンピュータ・ラボ」「インターネット・イングリッシュ」「自然言語処理」などが開講されている。

私が担当している「自然言語処理」では、コーパスを使って英語の実態分析を行っている。今でこそようやく「コーパス言語学」が市民権を得つつあるが、教え始めた頃は試行錯誤の連続だった。コーパスの作り方がわからない、ましてやどのようにして検索していいものやら。海外の文献を読み漁り、ブラウンコーパスを取り寄せ、見よう見まねで、学生と一緒にコーパス作りを始めた。その頃編纂したコーパスは、今から見れば規模の小さなものだったが、私の語法研究には大いに役立った。

それから 10 年。今年の授業は、「コーパス言語学の基礎と実践」を看板にあげ、コーパスを活用し英語の実態をレポートさせた。具体的には「コーパス言語学とはなにか」から始まり、レポートを作成するためのワープロ・表計算およびインターネット利用法、コーパス作成の実習、正規表現による検索、WordSmith 操作法、KWIC データの読み方などを経て、学生が各自で選んだテーマについて、コーパス、語法書、辞書、インターネットを利用してレポートを提出させた。

類義語に関するレポートが多く、allow vs. permit, despite vs. in spite of, many vs. a lot of, couple vs. pair, bother vs. disturb, sharp vs. keen, work vs. job, even if vs. even though, happen vs. occur, hardly vs. scarcely など。その他、different, hopefully, absolutely, look forward to, suggest that などの語法を取り上げた者もいた。

表面的な分析に終始している学生のレポートを見て思うのは、コーパスはあくまで基礎データに過ぎないということである。データをいかに読むか、そこから何をつかみ出すかは学生の問題意識と密接に関係してくる。コンピュータの操作やコーパス検索のテクニックなど、技術的なことを教える以上に、言葉に対する問題意識をいかに形成させるか。これが私の来年の課題である。

#### ◆ John Sinclair その後

徳島大学 中村純作

もと Cobuild 編集主幹の John Sinclair は Birmingham 大学でのポジションを持ったまま、イタリア中部のトスカナ地方、ピサとフィレンチェの中間に位置するベラノという町でコーパスを利用した研究者のためのセミナーを開いています。現在の奥さんである Elena Tognini-Bonelli (University of Lecce)の実家の農場を改造して、宿泊可能な THE TUSCAN WORD CENTRE を設立、彼女とともにコーパス研究者の養成に力を注いでいる様子です。筆者も 3 年ほど前にバーミンガムで 2 人から直接その計画を聞いていましたが、最近の Corpora に次のような Sinclair 自身による紹介が載っていましたので転載します。

#### ACCESS TO LANGUAGE CORPORA ON COMPUTERS

Short Intensive Courses - with fully-funded places

TWC organises one-week high-level courses for language researchers and workers in the language industries. This year they are particularly concerned with giving access to the resources available in text corpora.

Places on the courses are sponsored by the European Commission under its "Training and Mobility of Researchers" scheme, and the courses are also supported by The British Council in Italy.

There are courses in April, June and October 1999.

Details and Application Forms at the Centre's website: <[www.twc.it](http://www.twc.it)>

John Sinclair

The Tuscan Word Centre

Vellano 409

51010 Pescia (PT)

Italia

Telephone: +39 (0)572 409251

Fax: 409253

Office: 409900

4月のコースには2人以外にも **Jan Svartvik** が講師を勤めるようです。コースの内容はコーパス言語学のシラバス作りにも役立ちそうです。興味のある方は、このセンターのホームページをご覧ください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

英語コーパス学会ニューズレター No 25

会長 齊藤俊雄

事務局 770-8502 徳島市南常三島町1-1 徳島大学総合科学部 中村純作研究室

TEL 0886-56-7129 FAX: 0886-56-7112 (共通教育事務室)

E-mail: (E-Mail address deleted)

URL [../index.html](#)

郵便振替口座 00940-5-250586 (英語コーパス学会)

目次

1. 第13回大会報告
  2. 『英語コーパス研究』編集委員会より
  3. 第14回大会の日程と研究発表募集について
  4. JAECS-MLの開設について
  5. 東支部設立準備委員会の今後の活動について
  6. 英語コーパス学会東支部設立準備委員会主催コンピュータ講習会
  7. 新入会員紹介
  8. 名簿の訂正のお願い
  9. 事務局から
- ◇会費納入のお願い
- ◇JAECS Logotype の選考状況について

◇その他

## FORUM

- ◆ シンポジウムのご案内
- ◆ BNC Sampler Now Available!

### 1. 第 13 回大会報告

英語コーパス学会第 13 回大会は、4 月 17 日（土）に四国大学で開催されました。当日は天候にも恵まれ、事務局の調べでは正会員 44 名、新入会員 4 名、当日会員 15 名、賛助会員 1 名の合計 64 名の出席がありました。

午前中のワークショップでは、当学会のホームページの管理をお願いしている西納春雄先生（同志社大学）に「研究者のためのホームページ作成」と題して Netscape Composer を使用したホームページ作成の実習を行ない、37 名の参加者がありました。初心者にも分かりやすい内容でしたので、参加者にはとても好評でした。

午後の大会では、総会の後、研究発表と特別講演が行われました。研究発表第 1 セッションでは、青木恵さん（東京学芸大学大学院生）の「学習者コーパスで見る時制の誤り：動詞の lexical aspect を考える」、古田八恵先生（四国大学）の「コーパスを用いた Phrasal Verbs の研究：go と take で始まる Phrasal Verbs のタイプ別、意味別頻度数を中心として」、第 2 セッションでは梅咲敦子先生（帝塚山短期大学）の「学術論文と口頭発表における英語使用の比較：コーパス編纂と分析」、岡田啓先生（関西外国語大学）の「Go --- ing 構文とその周辺」の計 4 件の研究発表がありました。各セッションとも、公開されている種々のコーパスや、あるいは新たに編纂したコーパスを用い、タグ付与等を含む様々な切り口で英語の諸相を明らかにしようとするバラエティにとんだものでした。

本大会を締めくくる最後のプログラムは徳島大学工学部知能情報工学科の青江順一教授の特別講演「コーパスを利用した自然言語処理システムの開発」でした。地元徳島のジャストシステムのソフトウェア開発に深く関わってこられた経験や、そのおりの裏話等も交えて、我々文系の研究者にとっても非常に興味深い、有意義な講演でした。

大会終了後の懇親会には 29 名の出席があり、特別講演講師の青江先生もお招きし、会員同士の交流と情報交換で盛り上がりました。

四国では初めての大会でしたので、何よりも参加者の数が心配されましたが、無事、成功裡に終わることができました。素晴らしい会場を提供して下さると共に、経済的にも援助を戴いた四国大学のご厚意に感謝致します。特に古田八恵大会実行委員には、大変お世話になりました。この紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

## 2. 『英語コーパス研究』編集委員会より

『英語コーパス研究』第7号原稿募集について昨年度より編集作業を引き継がせていただき、多くの方々のご協力とご支援のもと、何とか『英語コーパス研究』第6号を刊行することができました。第13回大会に出席された会員には当日お渡ししました。欠席された会員にはこのニューズレターとともにお手元にお届け致します。名誉会員である Jan Svartvik 氏の特別寄稿を巻頭に、研究論文3編、研究ノート2編、海外レポート2編、書評2編の構成となっております。編集期間中、貴重なお時間を拝借し、いろいろとご無理をお聞き届けいただきました論文審査員の先生方、また、ご経験に基づく貴重なご助言を賜りました前任の田畑智司先生（大阪大学）にはこの場を借りまして厚くお礼申し上げます。

さて、第7号（2000年刊行）の原稿を次の要領で募集致します。会員各位の積極的な投稿をお待ちしております。

### 【原稿の種類】

1. コーパス利用・コンピュータ利用を中心に据えた「研究論文」、「研究ノート」
2. 「コーパス紹介」、「ソフト紹介」、「書評」、「海外レポート」その他コーパス研究に有益な情報

### 【投稿申込締切】6月30日（水）

（氏名、所属、原稿の種類とタイトルを事務局までお知らせください）

### 【原稿提出締切】9月30日（木）

（ハードコピー4部提出；フロッピーディスクは査読終了後提出）

### 【投稿原稿の送付先】

〒690-8504

島根県松江市西川津町 1060

島根大学教育学部

井上永幸研究室 宛

**【原稿の長さ】**

1. 研究論文

和文 35 字×30 行×15 枚以内

英文 70 ストローク×35 行×15 枚以内

(いずれも Abstract (英文), 注, 書誌を含む)

2. 研究ノートは 10 枚以下, その他は研究論文の  
半分以下。

**【書式】** 第 6 号所収の論文を参考にしてください。

詳細は, 下記のサイトをご確認ください。

<http://lexis.edu.shimane-u.ac.jp/inoue/jaecs/>

**【採否通知】** 11 月ころ

**【刊行予定】** 2000 年 3 月 25 日

『英語コーパス研究』編集委員会

3. 第 14 回大会の日程と研究発表募集について

◇1999 年度の秋の大会 (第 14 回大会) は 10 月 9 日 (土) に日本大学生産工学部 (千葉県習志野市) で開催されることになりました。関東地区で開催される 2 度目の大会ですが、京成上野駅から約 1 時間の距離です。是非、今から出張の予定に組み込んで頂きたいと思っております。

◇大会での研究発表を次の要領で募集いたします。発表を希望される方は、下記の要領に従って、郵便または電子メールのいずれかで事務局にお申し込みください。

**【応募締切】** 1999 年 6 月 30 日 (水)

**【提出物】** 題目と要旨 (800~1200 字程度)

**【内容】** 本学会にふさわしい、コーパス利用・  
コンピュータ利用を中心に据えた研究

**【採否決定】** 1999 年 7 月上旬 (予定)

**【その他】**

1. 時間 発表 30 分+質疑応答 10 分 (応募数により短くなることもある)
2. 資格 本学会会員であること

◇シンポジウム、ワークショップなどの企画についてアイデアをお寄せください。久々の東京地区での開催ですので、東地区の先生方を中心としたシンポジウム等が企画できればと思っております。

#### 4. JAECS-ML の開設について

昨年 10 月の運営委員会で本学会の正式なメーリングリストとして設置が決まった JAECS-ML がこのほど正式にスタートしました。目的は会員相互の情報交換ならびに、(将来の)学会事務のペーパーレス化です。参加者は本学会の会員に限ります。また、会員でなくなった場合にはリストから除かれます。リストへの登録は次の Web page にて随時行って下さい。

<http://lexis.ilcs.hokudai.ac.jp/jaecs.html>

ホームページへの認証は id、password とともに jaecs で行います。「加入申請」を選びますと、氏名、e-mail アドレス、加入取り消し時に必要となるパスワードを尋ねてきますので、指示に従って入力し、この加入申請を submit します。次に、登録確認のための以下の例に示すようなメールが送られてきます。

\*\*\*\*\*

山田 花子 (xxxx@ilcs.hokudai.ac.jp) 様

これは、<http://lexis.ilcs.hokudai.ac.jp/jaecs> において Mon Apr 12 01:57:43 GMT 1999 になされた加入手続きに基づいて機械的に出されたメールです。

もし加入手続きを行わなかったにもかかわらず、このメールを受け取っているときには、メーリングリストの管理係りへご一報下さい。(連絡先は本メールの末尾を参照下さい。)

加入手続き時に入力された内容は以下の通りです。

氏名 (漢字) : 山田 花子

(カナ) : ヤマダ ハナコ

(ローマ字) : Yamada Hanako

配 送 先 : xxxx@ilcs.hokudai.ac.jp

パスワード: hanako

パスワードは加入取消、配送先変更 (、将来は投稿ログからの投稿の削除) に必要となりますので忘れないようにしてください。

本メーリングリスト(JAECS-ML)は、日本英語コーパス学会の事務的連絡をはじめ、英語コーパス言語学に関連する情報交換を目的として設置されています。投稿はメーリングリストのメンバーに限られています。投稿宛先はつぎの通りです。

jaecs-ml@lexis.ilcs.hokudai.ac.jp

配送先変更あるいは加入取消はつぎのウェブページで行って下さい。

<http://lexis.ilcs.hokudai.ac.jp/jaecs.html>

それ以外の変更、問い合わせは、下記の当学会メーリングリスト係りへ連絡ください。

JAECs-ML 担当 園田勝英 (Sonoda Katsuhide)

北海道大学言語文化部, 〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目

(E-Mail address deleted) Phone 011-706-5375 (研究室)

\*\*\*\*\*

以上で、登録が終了します。会員諸氏のご利用をお待ちしております。

#### 5. 東支部設立準備委員会の今後の活動について

昨年度発足した東支部設立準備委員会は、この1年ほど、諸般の事情により活発な活動を行うことができませんでした。そこで、会長と設立準備委員会の世話人の先生方が4月上旬に2度ほど都内で会合を持ち、来年度支部発足を目標に次のような計画を立て、4月16日開催の運営委員会で承認されました。

◇設立準備委員会世話人：朝尾幸次郎（東海大学）、  
新井洋一（中央大学）、大名力（群馬大学）、  
岡田毅（山形大学）、園田勝英（北海道大学）、  
塚本聡（日本大学）、山崎俊次（大東文化大学）、  
吉村由佳（慶応大学）

◇設立準備委員会の目標：

- ①中高大教員、院生の会員募集
- ②ワークショップの開催年2～3回)
- ③東支部の設立

◇英語コーパス学会第14回大会：平成11年10月  
9日（土）日本大学生産工学部（千葉県習志野市）  
に於いて塚本聡先生を中心に開催

◇コンピュータ利用による英語分析のためのワークショップの実施：

①平成 11 年 7 月 24 日（土）13:00～16:00

於：日本大学（塚本聡先生担当）

内容：

1 部 インターネットの有効利用

2 部 コンピュータコーパス初歩

②平成 11 年 11 月 27 日（土）13:00～16:00

於：大東文化大学（山崎俊次先生担当）

内容：

1 部 インターネットを使った英語教育・研究

2 部 コンピュータコーパス中級

③平成 12 年 2 月開催、詳細は未定

以上のような計画で、設立準備委員会世話人の数も増やし、山崎先生を中心に活動を行っています。東地区会員諸氏で興味をお持ちの方は、世話人までご一報下さい。

## 6. 英語コーパス学会東支部設立準備委員会主催コンピュータ講習会

一部東支部設立準備委員会の記事と重複しますが、英語コーパス学会東支部設立準備委員会主催のコンピュータ講習会が下記の要領で開催されます。

<日時>平成 11 年 7 月 24 日（土）13:00～16:00

<場所>日本大学生産工学部実靱(みもみ)校舎  
(千葉県習志野市)

<交通>京成電鉄 実靱駅より徒歩 10 分

<内容>「コンピュータによる英語研究の講習会」

1 部：インターネットの有効利用

2 部：コンピュータ・コーパス検索の初歩

<対象>中高大教員、院生

<参加費>無料

<申し込み・問合せ先> 塚本聡

Fax: 日本大学生産工学部 047-473-1227

(E-Mail address deleted)

昨今、言語研究とりわけコーパス利用には、コンピュータは不可欠となりつつあります。

この講習会は、初心者を対象としたコーパスに関連したインターネットの利用法と主要なコーパスの基礎的な検索の実習を目的とします。詳細は下記のホームページまで。

<http://www.mmm.cit.nihon-u.ac.jp/~tukamoto/corpus/>

以上、英語コーパス学会東支部設立準備委員会世話人山崎俊次先生（大東文化大学）よりのお知らせです。

初歩から始めたいと思っている東地区の会員諸氏にはよい機会だと思いますので、是非ご参加下さい。なお、『英語教育』『言語』および『英語青年』にこの講習会の告知記事を依頼しておりますが、まだ会員でない知り合いの方でコーパスを利用した研究に興味をお持ちの方がいましたら、お誘い下さい。東地区の会員数拡大もこの講習会の大きな目的の一つです。

#### 7. 新入会員紹介（住所・電話番号は、郵送されるニューズレターをご参照ください）

JA ECS Newsletter No. 24 発行以降の新入会員の方は次の通りです（5月15日現在、敬称略）

<一般会員>

河本 誠（岡山理科大学）

(E-Mail address deleted)

衣笠 忠司（大阪市立大学）

(E-Mail address deleted)

小泉 仁（ひさし）（文部省初等中等教育局）

(E-Mail address deleted)

東海林宏司（茨城キリスト教学園シオン短期大学）

(E-Mail address deleted)

釣井 千恵（桃山学院大学非常勤講師）

(E-Mail address deleted)

露木 幸雄（都立松が谷高校）

(E-Mail address deleted)

中川 裕之 (大阪外国語大学)

(E-Mail address deleted)

長尾 幸広 (大阪教育大学大学院)

(E-Mail address deleted)

平岡 禎一 (詫間電波工業高等専門学校)

(E-Mail address deleted)

<賛助会員>

桐原ユニ

166-0003 杉並区高円寺南 2-44-5

(E-Mail address deleted)

8. 名簿の訂正のお願い (住所・電話番号の変更は、郵送されるニューズレターをご参照ください)

会員名簿の記載内容に訂正がございます。以下のようにご訂正下さい。

◇住所・電話番号の変更

吉村 由佳

◇E-mail アドレスの変更

三木 隆之

(E-Mail address deleted)

9. 事務局から

◇会費納入のお願い

1999 年度会費 (一般 4,000 円、学生 3,000 円) 未納の方には郵便振替用紙を同封致しますのでお納めください。郵便局発行の受領証をもって領収書に代えさせていただきます。

1998 年度会費未納の方は、1999 年度分と合わせてお納めください (振替用紙にその旨記しております)。行き違いになりました場合は、何とぞご容赦ください。2 年続けて会費未納の場合、JAECs Newsletter 等の送付を中止させていただきます。

住所、所属等に変更や異動のある方は、必ず通信欄にお書き添えください。

#### ◇JAECS Logotype の選考状況について

昨年末より募集していました JAECS ロゴタイプの選考状況ですが、現在 2 名の方より数点の応募があり、4 月 16 日開催の運営委員会で検討致しましたが、まだ結論が出ていません。もう少し応募状況を見た上で、秋の大会には正式に決定したいと思っております。ご応募戴いた会員諸氏にはもう少しお待ち願いたいと思います。

#### ◇その他

事務局では、シンポジウムやワークショップの企画・アイデアを随時募集しております。最近ワークショップの内容がマンネリ化してきているとの意見もあり、新しい企画が待たれます。英語コーパス学会の大会プログラムとしてふさわしい内容のものがありましたら、どしどしご提案ください。

FORUM 欄への投稿もお待ちしております。海外の学会・研究の動向、新刊・近刊図書の紹介、身近なコーパス研究のエピソード等でも結構ですのでお寄せください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

#### FORUM

##### ◆シンポジウムのご案内

大阪大学 今井光規

(E-Mail address deleted)

本年 5 月 29・30 日に松山大学（松山市文京町）で開催される、日本英文学会第 71 回大会の 2 日目に、SYMPOSIA 第 10 部門として、「電子コーパス時代のフィロロジ」が予定されています。パネリストは、鈴木重樹（名古屋学院大学）、中尾佳行（広島大学）、園田勝英（北海道大学）、田畑智司（大阪大学）の 4 氏です（鈴木氏は司会・講師）。結果的にすべて英語コーパス学会の会員という顔ぶれです。これらの方々は何れも、電子コーパスが一般的に使用されるようになる以前は、ほとんどすべて手作業によって、精緻でしかも独創的なフィロロジ研究を実践され、コンピュータ時代に入るといち早く、高度なコーパス言語学的知識と技術を駆使して、次々とすばらしい成果をあげておられます。新旧フィロロジの境目を苦心して見事に通過された方々ばかりです。このシンポジウムのもう一つの魅力は、古英語、中英語、初期近代英語、近代英語のすべての時代をカバーしていることです。更にありがたいことは、パネリストたちが、抽象的な議論に留まるのではなく、具体的な、いわばテキストに密着した研究例に基づいて話をしてくださるということです。詳しくは、日本英文学会第 71 回大会資料 pp. 73-5 をご参照下さい。大会準備委員の一人として、企画段階

からかかわりましたので、(委員会には無断ですが) PRさせていただきます。皆さま是非ご参加下さい。

◆ BNC Sampler Now Available!

徳島大学 中村純作

(E-Mail address deleted)

3月下旬の *Corpora* に上記タイトルの記事が出ていましたが、会員諸氏の中にもご覧になったかたがいると思います。BNC Sampler はできるだけもとのコーパスのバランスを崩さないように BNC から抽出された 200 万語のテキスト (完全な書誌情報付きの書き言葉とやはり完全な documentation を備えた話し言葉、各々100万語からなる 184 のテキスト) を収めた CD-ROM です。特筆すべきは、付属の検索ソフト 4 種類です。すべて SGML 形式に対応したもので、そのうち Birmingham 大学の Oliver Mason の開発した Qwick、Oxford 大学で開発された SARA 及び Liverpool 大学の Mike Scott の WordSmith Tools の 3 つは Windows の環境 (Windows 95, 98 あるいは NT) で動きます。もう一つの検索ソフトは Stuttgart の Arne Fitschen により開発されたもので、Corpus Work Bench と呼ばれ、Unix に対応したものです。これら 4 種類の検索ソフトはこの CD-ROM 上のテキスト検索にしか使うことが出来ませんが、すべての機能を利用できる完全版です。それぞれ固有の特徴を持っているこれらの検索ソフトを用いることにより、研究目的に合わせた色々な作業をこなすことが可能だと言われています。

コーパスそのもののサイズは 200 万語と限られてはいますが、学生を対象としたコーパス検索の実習には持ってこいの CD-ROM だと思われます。価格は 10 枚までが 30 ポンド、それ以上は 20%引きになり、Web サイトから注文書をダウンロードして、郵送する形で手に入ります。先日四国大学で開催された本学会の第 13 回大会でも、賛助会員である桐原ユニが、展示即売しておりました。こちらの方は 7,000 円と多少割高でしたが、筆者も購入し、早速、学生に使わせています。

なお、従来のコーパスに加えて、Frown, FLOB, Australian Corpus of English, Wellington Corpus, SEC, COLT 等を網羅した新しい ICAME Corpus Collection on CD-ROM はこの 5 月発売予定とのことですが、まだ、出回っていないようです。あらかじめ申し込みをしていた齊藤会長の所には、まだ現物は届いていないようですが、すでにクレジットカードの請求が来ているとのこと。この CD-ROM に関する詳細は ICAME のホームページをご覧ください。

□

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

□

英語コーパス学会ニューズレターNo 26

会長 齊藤俊雄

事務局 770-8502 徳島市南常三島町1-1 徳島大学総合科学部 中村純作研究室

TEL 0886-56-7129 FAX : 0886-56-7112 (共通教育事務室)

E-mail: (E-Mail address deleted)

URL [../index.html](#)

郵便振替口座 00940-5-250586 (英語コーパス学会)

目次

1. 第14回大会のご案内
2. 『英語コーパス研究』第7号への応募状況
3. 英語コーパス学会東支部設立準備委員会がコンピュータ講習会を開催
4. JAECS-MLの開設について
5. 新入会員紹介
6. 名簿の訂正のお願い
7. 事務局から

◇会費納入のお願い

◇入会申込書のJAECSホームページへのアップロードについて

◇JAECSのLogotype選考について

◇日大生産工学部実籾校舎へのアクセスについて

◇その他

## FORUM

- ◆ ICAME より新 Corpus Collection リリース
- ◆ ICAME '99 報告

### 1. 第 14 回大会のご案内

英語コーパス学会第 14 回大会は、10 月 9 日（土）に日本大学生産工学部実籾校舎（〒271-1192 千葉県習志野市新栄 2-11-1 京成電鉄上野駅より急行で 52 分、実籾（みもみ）駅下車、徒歩 7 分。「事務局から」の欄に簡単な地図を掲載。詳細は <http://www.mmm.cit.nihon-u.ac.jp> を参照）で開催されるはこびとなりました。会場校のご好意と塚本聡大会実行委員のご尽力に感謝いたします。

大会プログラムとレジメを同封いたしますが、今大会でも研究発表 4 件と特別講演を準備いたしました。研究発表第 1 セッションではコーパスを利用した通時的研究を 2 件、第 2 セッションにはビジネス英語に関する研究とウェブを利用した検索システムに関するものをお願いしました。第 1 セッション、第 2 セッションを通じて、自作したプログラムを使った研究が多いのが今回の特徴です。今後とも必要に応じてプログラムを書く能力が問われると思いますので、これらの発表が大いに参考になるものと期待しております。

特別講演には、明海大学での集中講義に来日中の Lancaster 大学教授 Geoffrey Leech 先生をお招きすることが出来ました。言うまでもなく Leech 先生は *A Comprehensive Grammar of the English Language* や *A Communicative Grammar of English* 等の共著者として世界的に有名な文法学者ですが、我々英語コーパス学会の会員の間では、コーパス言語学の世界的な先駆者、草分け的存在としても知られています。LOB Corpus 編纂には中心的な役割を果たしましたし、最近では BNC の編纂にも深く係わり、現在でも ICAME の中心的なメンバーとして活躍されています。大の親日家で、JACET のセミナーや本年日本で開催された AILA の大会等で、すでに何度となく来日されていますので、会員諸氏の中にも顔なじみの方がいるものと思います。今回は “Corpus Linguistics and the BNC” と題したお話をお願いしておりますが、最新の情報に満ちた、有意義な講演となるものと思われまます。ご期待下さい。また、今回の講演を契機に是非本学会の名誉会員になっていただくことを考えています。なお、今回の講演をお願いするにあたって、明海大学小池生夫先生には大変お世話になりました。紙上を借りて、厚くお礼を申し上げます。

恒例となっている午前中のワークショップでは、中村純作（徳島大学）が「BNC のデータ構造と SARA による検索」と題して、この 3 月に売り出された BNC Sampler のデモンストレーションを行う予定です。BNC の検索方法の実際を、CD-ROM 付属の検索ソフト SARA の様々な機能と簡単な例を使いながら説明します。ただ、レジメにも書きましたよう

に、受講者全員に CD-ROM を準備することが出来ませんので、各自ご準備願えればと思っております。このワークショップに参加することにより、BNC に関連した Leech 先生の特別講演の意味も増すものと思います。参加希望の方は、あらかじめ事務局宛てに、葉書あるいは電子メールでお申し込みください。先着 30 名（予定）で締め切らせていただきます。英語コーパス学会の会員であれば参加費は無料です。（非会員の場合は参加費 1,000 円）なお、ワークショップ参加の会員諸氏には当日の昼食に弁当を準備したいと思っております。ワークショップへの参加希望を申し出る際に、弁当が必要かどうかもお知らせください。

→目次へ

## 2. 『英語コーパス研究』第 7 号への応募状況

『英語コーパス研究』第 7 号の応募状況ですが、これまでに論文 4 件、研究ノート 2 件、書評 2 件のお申し込みをいただいております。

なお、9 月の末までにご応募いただければ、審査の対象となることが可能ですので、ぜひとも奮ってご応募いただければ幸いです。

### 【原稿の種類】

1. コーパス利用・コンピュータ利用を中心に据えた「研究論文」、「研究ノート」
2. 「コーパス紹介」、「ソフト紹介」、「書評」、「海外レポート」その他コーパス研究に有益な情報

### 【原稿の長さ】

#### 1. 研究論文

和文 35 字×30 行×15 枚以内、英文 70 ストローク×35 行×15 枚（または、約 6000 語）以内（いずれも Abstract (英文)、注、書誌を含む）

#### 2. 研究ノートは 10 枚以下、その他は研究論文の半分以下。

【書式】第 6 号所収の論文を参考にしてください。

詳細は、次のサイトをご確認ください。

<http://lexis.edu.shimane-u.ac.jp/inoue/jaecs/>

【原稿提出締切】1999 年 9 月 30 日（木）

【提出内容】ハードコピー 4 部提出。採用決定後、査読作業が完了してからフロッピーディスクを提出。

※他の学会誌・専門誌等に同じ主旨の論文を投稿することはご遠慮ください。

【提出先】

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

島根大学教育学部 井上永幸研究室 宛

(E-Mail address deleted)

TEL/FAX: 0852-32-6278

【採否通知】 11 月ころ

【刊行予定】 2000 年 3 月 25 日

英語コーパス学会『英語コーパス研究』編集委員会

井上 永幸

→目次へ

3. 英語コーパス学会東支部設立準備委員会がコンピュータ講習会を開催

英語コーパス学会東支部設立準備委員会主催の「コンピュータによる英語研究の講習会」が平成 11 年 7 月 24 日（土）日本大学生産工学部実籾校舎（千葉県習志野市）で開催されました。中高大教員、院生を対象としたプログラムは、1 部「インターネットの有効利用：コーパス言語学の立場から」と 2 部「コンピュータ・コーパス検索の初歩」の 2 部構成で、各々、吉村由佳先生（慶応大学非常勤講師）と塚本聡先生（日本大学生産工学部）に担当して頂きました。

この講習会では、初心者を対象としたコーパスに関連したインターネットの利用法と主要なコーパスの基礎的な検索の実習を行いました。関東地区の大学、短大、高校の先生方や、遠くは弘前大学の先生や、岡田毅先生（山形大学）のゼミの院生と学部生、関西地区からは甲南女子大の院生など、20 名近くの参加があり、熱心にコンピュータ実習に取り組んでいました。齊藤会長と事務局からは中村も参加しましたが、このように盛況な講習会が今後も開かれるなら、関東地区の会員拡大も間近だと感じました。会場のお世話と講師を勤めて頂いた塚本先生、吉村先生他、東支部設立準備委員会の山崎俊次先生（大東文化大学）、新井洋一先生（中央大学）にもお世話になりました。

なお、同じく東支部設立準備委員会主催の第 2 回の講習会が平成 11 年 11 月 27 日（土）に大東文化大学で開催されます。内容は 1 部「インターネットを使った英語教育・研究」、2 部「コンピュータコーパス中級」を予定しています。コーパスに興味を持つ研究者の輪を広げるためにも、知り合いの先生方、学生、院生をお誘い下さい。

講習会の資料は、以下の URL に掲載されています。

<http://www.mmm.cit.nihon-u.ac.jp/~tukamoto/corpus/workshop.html>

→目次へ

#### 4. JAECS-ML の開設について

昨年 10 月の運営委員会で本学会の正式なメーリングリストとして設置が決まった JAECS-ML が本年 4 月に正式にスタートしましたが、現在、登録済みの会員数は、当初の予定に反してそれほど多くありません。目的は会員相互の情報交換ならびに、(将来の)学会事務のペーパーレス化ですが、この際、まだ、未登録の会員諸氏には、是非、登録をお願いいたします。 JAECS Newsletter No. 25 に登録の手続きについて掲載しましたが、本号でも再掲しておきます。

リストへの登録は次の Web page で行います。

<http://lexis.ilcs.hokudai.ac.jp/jaecs.html>

ホームページへの認証は id、password とともに jaecs で行います。「加入申請」を選びますと、氏名、e-mail アドレス、加入取り消し時に必要となるパスワードを尋ねてきますので、指示に従って入力し、この加入申請を submit します。次に、登録確認のための以下の例に示すようなメールが送られてきます。

\*\*\*\*\*

山田 花子 (xxxx@ilcs.hokudai.ac.jp) 様

これは、<http://lexis.ilcs.hokudai.ac.jp/jaecs> において Mon Apr 12 01:57:43 GMT 1999 になされた加入手続きに基づいて機械的に出されたメールです。

もし加入手続きを行わなかったにもかかわらず、このメールを受け取っているときには、メーリングリストの管理係りへご一報下さい。(連絡先は本メールの末尾を参照下さい。)

加入手続き時に入力された内容は以下の通りです。

氏名 (漢字) : 山田 花子

(カナ) : ヤマダ ハナコ

(ローマ字) : Yamada Hanako

配送先 : xxxx@ilcs.hokudai.ac.jp

パスワード: hanako

パスワードは加入取消、配送先変更（、将来は投稿ログからの投稿の削除）に必要となりますので忘れないようにしてください。

本メーリングリスト(JAECS-ML)は、日本英語コーパス学会の事務的連絡をはじめ、英語コーパス言語学に関連する情報交換を目的として設置されています。投稿はメーリングリストのメンバーに限られています。投稿宛先はつぎの通りです。

jaecs-ml@lexis.ilcs.hokudai.ac.jp

配送先変更あるいは加入取消はつぎのウェブページで行ってください。

<http://lexis.ilcs.hokudai.ac.jp/jaecs.html>

それ以外の変更、問い合わせは、下記の当学会メーリングリスト係りへ連絡ください。

JAECS-ML 担当 園田勝英 (Sonoda Katsuhide)

北海道大学言語文化部, 〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目

(E-Mail address deleted) Phone 011-706-5375 (研究室)

\*\*\*\*\*

以上で、登録が終了します。会員諸氏のご利用をお待ちしております。

→目次へ

5. 新入会員紹介（住所・電話番号は、郵送されるニューズレターをご参照ください）

JAECS Newsletter No. 25 発行以降の新入会員の方は次の通りです（8月15日現在、敬称略）

市川 真矢（常葉学園短期大学）

(E-Mail address deleted)

大竹 康子（名古屋商科大学）

(E-Mail address deleted)

大谷 啓明（東京大学大学院生）

(E-Mail address deleted)

金子 利雄 (佐野国際情報短期大学)

(E-Mail address deleted)

マユー あき (島根県立島根女子女子短期大学)

(E-Mail address deleted)

→目次へ

6. 名簿の訂正のお願い (住所・電話番号は、郵送されるニューズレターをご参照ください)

◇住所の変更

梅咲 敦子

川畑 彰

許斐 慧二

佐藤 恭子 (E-Mail address deleted)

島津美和子 東芝研究開発センター・ヒューマンインターフェースラボラリー

塚本 倫久

松田謙次郎 神戸松蔭女子学院大学

吉田 仁志 ベネッセ ベネッセコーポレーション辞典 辞典部 企画室

◇所属の変更

長田 哲男 東海大学非常勤講師、日本大学非常勤講師

杉浦 正利 名古屋大学大学院国際開発研究科

東郷登志子 山梨県立富士河口湖高等学校

◇電話番号の変更

綾野 誠紀

小寺 正洋

高島 直樹

◇郵便番号の変更

飯塚 利昭 101-8466

野口ジュディ 663-8151

◇メールアドレスの変更

飯塚 利昭 (E-Mail address deleted)

井上 永幸 (E-Mail address deleted)

木村 利夫 (E-Mail address deleted)

國森 伸子 (E-Mail address deleted)

酒井 成夫 (E-Mail address deleted)

染谷 泰正 (E-Mail address deleted)

東郷登志子 (E-Mail address deleted)

日臺 滋之 (E-Mail address deleted)

Boyd, Stephen A.C. (E-Mail address deleted)

柳沼 豊 (E-Mail address deleted)

→目次へ

## 7. 事務局から

### ◇会費納入のお願い

1999年度会費(一般4,000円、学生3,000円)未納の方には郵便振替用紙を同封致しますのでお納めください。郵便局発行の受領証をもって領収書に代えさせていただきます。1998年度会費未納の方は、1999年度分と合わせてお納めください(振替用紙にその旨記しております)。行き違いになりました場合は、何とぞご容赦ください。2年続けて会費未納の場合、JAECS Newsletter等の送付を中止させていただきます。

### ◇入会申込書のJAECSホームページへのアップロードについて

入会申込書をJAECSホームページにアップロードして、1年が経過しました。新しく入会を希望する方には、ホームページよりダウンロードした申込書のハードコピーをとった上で、直筆で署名、事務局に郵送していただいております。新入会員の方は、ほとんどがこの方式で手続きをしておりますので、新しく会員をお誘いする時には、このことも付け加えて頂ければ幸いです。

### ◇JAECSのLogotype選考について

JAECS Newsletter No. 23以来、Logotypeのデザインの募集をしておりますが、現在のところ、3件の応募が届いております。最終的には、この秋の大会時の運営委員会に諮り決定する予定です。応募戴いた会員には、もう少しお待ち願えたらと思っています。

### ◇日大生産工学部実習校舎へのアクセスについて

10月9日開催の第14回大会の会場校である日大生産工学部実習校舎への地図を掲載しておきます。同じ習志野市内に同学部の津田沼校舎もありますので、間違いの無いようお気をつけください。

### ◇その他

事務局では、シンポジウムやワークショップの企画・アイデアを随時募集しております。最近ワークショップの内容がマンネリ化してきているとの意見もあり、新しい企画が待たれます。英語コーパス学会の大会プログラムとしてふさわしい内容のものがありましたら、どしどしご提案ください。

FORUM 欄への投稿もお待ちしております。海外の学会・研究の動向、新刊・近刊図書の紹介、身近なコーパス研究のエピソード等でも結構ですのでお寄せください。

→目次へ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## FORUM

### ◆ICAME より新 Corpus Collection リリース

島根大学 井上 永幸 (E-Mail address deleted)

ICAME (International Computer Archive of Modern and Medieval English) より新しい Corpus Collection がリリースされたので簡単に紹介する。合計 1700 万語を越える 20 のコーパスが収められている。

#### 【タイトル】

ICAME Collection of English Language Corpora (Version 2, Bergen, June 1999; ISBN 82-7283-091-4) Coordinators: Knut Hofland, Anne Lindebjerg, Jrn Tunestvedt, The HIT Centre, University of Bergen

価格 : NOK3,000 [約¥45,000] ; 1998 年に旧 CD-ROM を購入した人には NOK1,500 [約¥22,500] で提供される。※価格はいずれもシングルユーザーの場合。

#### 【内容】

Written

Brown Corpus \*untagged / tagged <WC>  
\*LOB Corpus untagged / tagged <WC>  
Freiburg-LOB (FLOB) <WC>  
Freiburg-Brown (Frown) <WC>  
\*Kolhapur Corpus <WC>  
Australian Corpus of English (ACE) <WC>  
Spoken  
\*London Lund Corpus <WC>  
Lancaster/IBM Spoken English Corpus (SEC) <WC>  
Corpus of London Teenage Language (COLT) <WC>  
Written & Spoken  
Wellington Corpus (WC) <WC>  
Wellington Spoken Corpus (WSC) <WC>  
The International Corpus Of English--East African component (ICE-EA)  
Historical  
\*The Helsinki Corpus of English Texts: Diachronic Part <WC>  
The Helsinki Corpus of Older Scots <WC>  
Corpus of Early English Correspondence, sampler (CEEC, CEECS) <WC>  
The Newdigate Newsletters <WC>  
The Lampeter Corpus of Early Modern English Tracts <WC>  
Innsbruck Computer-Archive of Machine-Readable English Texts (ICAMET)  
Parsed  
Polytechnic of Wales Corpus (PoW)  
Lancaster Parsed Corpus

上記のリストのうち、\*印のついたものは1991年2月にリリースされた初版のときにすでに含まれていたものなので、ここでは新たに加えられたものを中心に紹介してゆく。

書き言葉では、Brown CorpusにLOB Corpusと同様のhorizontal及びverticalのtagged versionsが用意された。研究目的によっては、Brown CorpusとLOB Corpusはその内容の古さから敬遠されていたわけであるが、そういった研究者に朗報がある。Albert-Ludwigs-Universität FreiburgのChristian Mairを中心に、Brown/LOB Corpusと同じ手法で1990年代初期のテキストを使って構築されたFLOB /flob/ Corpus (Freiburg-LOB Corpus of British English)とFrown /fraun/ Corpus (Freiburg-Brown Corpus of American English)が利用できるようになった[tagged versionはない]。また新たに加えられたものとして、1986年に書かれたテキストをもとにしているということを除いて

Brown/LOB Corpus とほぼ同じ手法で構築されている The Australian Corpus of English がある。

一方、話し言葉では、従来は CD-ROM に含まれていなかった Lancaster/IBM Spoken English Corpus が含まれたほか、BNC の手法を取り入れて構築された英国のティーンエイジャーのコーパスである The Bergen Corpus of London Teenage Language [50 万語; orthographic, prosodic 及び tagged versions を含む] が新たに加えられた。

書き言葉と話し言葉の両方が用意されているものとしては、東アフリカ英語を集めた The International Corpus of English--East African component [ケニヤとタンザニアの話し言葉及び書き言葉 100 万語] のほか、Brown/LOB Corpus とほぼ同じ手法で 1986 年と 1987 年のものを中心に 1986-1990 年にわたるニュージーランド英語の書き言葉を集めた The Wellington Corpus of Written New Zealand English [100 万語 ; tagged version を含む] と、1990-1994 年を中心に、1988-1994 年の範囲でニュージーランド英語の話し言葉を集めた The Wellington Corpus of Spoken New Zealand English [100 万語; WSC と spoken component of ICE-NZ は 9 カテゴリーをシェアしている] がある。Wellington Corpus については CD-ROM が先行されて発売されており、筆者も含めて、早まって購入したことを後悔している会員の方もいらっしゃるかもしれない。

通時コーパスの方では、新たに University of Helsinki の Anneli Meurman-Solin が中心となって構築された The Helsinki Corpus of Older Scots [約 80 万語]、Department of English, University of Helsinki の Sociolinguistics and Language History project team による The Corpus of Early English Correspondence [270 万語] 及び The Corpus of Early English Correspondence Sampler [45 万語]、Newdigate 家 [ほとんどは Sir Richard Newdigate (d. 1710) 宛] に送られた 3950 通に及ぶ手書きの newsletter のうち、最初の 2100 通 (13 January 1673/4 through 11 June 1692) を収録した The Newdigate Newsletters、1640-1740 年に発行された小冊子・パンフレット類 (tracts and pamphlets) で、University of Wales, Lampeter の Founders' Library に所蔵されているもの全て [約 110 万語] を収録した The Lampeter Corpus of Early Modern English Tracts、Dr. Manfred Markus が中心となって、主に Middle English と Early Modern English の散文テキストを集めた Innsbruck Computer-Archive of Machine-Readable English Texts の一部などが追加された。

構文解析用コーパスとして、Polytechnic of Wales Corpus 及び LOB コーパスをもとに作られた Lancaster Parsed Corpus が含まれている。

最後に、コーパス分析ツールについて紹介しておく。DOS 版のツールである WordCruncher と TACT は、初版同様 CD-ROM に同梱されているが、特に WordCruncher の方は、今回新たに CD-ROM に含まれるほとんど全てのコーパスに対応したインデックスファイルが提供されており〔上記リストに<WC>と表記してある〕、特別なインストール作業なしに直接 CD-ROM から利用できる。すでによく知られている高機能コーパス分析ツール LEXA と、PC 上で発音記号を始めとする非標準的な文字を表示・印刷するためのツール LinguaFont suite (Ver. 5) も同梱された。注目すべきなのは JAVA アプリケーションの Qwick (Ver. 1.01) であろう。すでに BNC Sampler などにも添付されており、ご存じの会員も多いと思うが、コンコーダンスはもちろん、mutual information、t-score、z-scoreなどを始めとする数種の統計値も得ることができる。インストールに若干コツを要するが、JAVA が動く環境であれば OS を選ばないのはうれしい。標準で FLOB が利用できるインデックスファイルがついてくるが、将来的には利用者が自分で集めたデータをインデックス化して利用できるようにする予定という〔作者からの私信より〕。Windows 版のコーパス分析ツールとして有名な WordSmith Tools (Ver. 3.0) も今回フルバージョンが同梱されており〔CD-ROM のジャケットの内側に USER NAME と CODE が印刷されている〕、この CD-ROM 一枚あればコーパス言語学の基本的な研究環境が整うと言っても過言ではない。なお、ほとんどすべてのコーパスに詳細な電子マニュアルが整備されている〔ICAMET は別途注文〕。

#### 【照会先】

The HIT Centre

Allegt. 27

N-5007 Bergen

Norway

Telephone: +47 5558 2954

Telefax: +47 5558 9470

E-mail: icame@hit.uib.no

Website: <http://www.hd.uib.no/icame/newcd.htm>

→目次へ

#### ◆ ICAME '99 報告

大東文化大学 山崎 俊次 (E-Mail address deleted)

本年 5 月 26 日から 30 日にドイツの Freiburg University で開催された ICAME '99 について簡単に報告をします。

今年の大会には総計 92 名の参加があり、過去 2 回と異なって英語圏以外のヨーロッパの真中で開催されたため、やはりドイツやスウェーデンからの参加が多くそれぞれ 18 名、15 名であった。また今年は、待望の New ICAME Corpus Collection CD-ROM が完成し、ICEUPIII が入った ICE-GB の販売が開始され、また BNC Sampler の購入も可能になり、コーパスも賑やかになってきた。さらに会場でソフトウェアの実演があり BNC の中のひとつのソフトである QWICK の製作者の Oliver Mason のソフト使用講習会は興味を引いた。

歴史コーパス研究発表は、Rissanen を中心としたフィンランド大学の研究者が多かったのは、例年の通りであるが、今年はドイツで開催ということも関連しているのか、外国語としての英語教育の観点から、Learners' Corpus と Parallel Corpus に関する発表が目についた。以下のような題で、主にドイツとスウェーデンの研究者が発表していた。‘Noun Phrase Complexity in Learner Writing’ (Meunier), ‘The English-Swedish Parallel Corpus: a Resource for Cross-Linguistic Theory and Description’ (Altenberg/ Aijmer), ‘Bilingual Text and Terminology Linkage in the Economic Domain’ (Brekke), ‘Aspect in the Chemnitz Internet Grammar’ (Schmied/ Hahn/ Reich).

最終日には The Survey of English Usage の Aarts が、‘Chomsky, Corpus Linguistics and Fuzzy Tree Fragments’ という題で、Chomsky と行なった電話の会話に基づいて理論言語学とコーパス言語学の言語学における位置関係とコーパス言語学の研究についての警鐘などについて衝撃的な発表をして意見が盛り上がった。Proceedings の完成が待ち遠しい。

来年は 4 月下旬にシドニーの MACQUARIE UNIVERSITY で開催の予定である。

→目次へ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



英語コーパス学会ニューズレター No 27

会長 齊藤俊雄

事務局 770-8502 徳島市南常三島町1-1 徳島大学総合科学部 中村純作研究室

TEL 0886-56-7129 FAX: 0886-56-7112 (共通教育事務室)

E-mail: (E-Mail address deleted)

URL [../index.html](#)

郵便振替口座 00940-5-250586 (英語コーパス学会)

1. 第14回大会報告
2. 『英語コーパス研究』編集委員会より
3. 第15回大会の日程と研究発表募集について
4. 会誌『英語コーパス研究』の編集体制と年会費値上げのお願いについて
5. 東支部設立準備会によるワークショップについて
6. 名誉会員の登録について
7. JAECS-MLについて
8. JAECS ロゴタイプの決定について
9. 新入会員紹介
10. 名簿の訂正のお願い
11. 事務局から

◇その他

## FORUM

### 1. 第 14 回大会報告

英語コーパス学会第 14 回大会は、10 月 9 日（土）に日本大学生産工学部実籾校舎（千葉県習志野市）で開催されました。当日は天候にも恵まれ、事務局の調べでは正会員 50 名、新入会員 8 名、当日会員 20 名の合計 78 名の出席がありました。

午前中のワークショップでは、当学会事務局の中村純作（徳島大学）が「BNC の構造と SARA による検索」と題して BNC Sampler を使用した検索の実習を行ない、39 名（内非会員 8 名）の参加者がありました。PowerPoint 97 のスライドを 140 枚ほど利用した内容は分かりやすいと好評でしたが、検索内容に目を見張るものが無く、担当者には検索の難しさが実感されたワークショップでした。

午後の大会では、開会式の後、研究発表と特別講演が行われました。研究発表第 1 セッションでは、遠藤裕昭さん（大阪大学大学院生）の「電子版脚韻インデックスの開発と音韻変化を電子検索する試み：AWK を用いた文字列処理過程を中心に」と、新井恭子さん（学習院大学大学院生）の「初期中英語における指示代名詞 ?e (that) と ?es (this) の形態」の 2 件の研究発表がありました。若い研究者による久々の通時的研究に関する発表でしたが、今後の活躍に期待を持たせるものでした。

第 2 セッションでは染谷泰正さん（東京大学大学院生）の「コーパス資料に基づく現代ビジネス英文の語彙的特性の研究」、大名力先生（群馬大学）の「ウェブを用いた学習者用用例検索システムの作成」の 2 件の研究発表をお願いしました。2 件とも、豊かな経験に基づく力強い発表で、参加者は大いに刺激を受けたものと思います。

本大会を締めくくる最後のプログラムは Geoffrey Leech 先生（ランカスター大学）の特別講演 “Corpus Linguistics and the BNC” でした。世界に名だたる文法学者であり、コーパス言語学の草分け的存在である Leech 先生の長年の経験に基づいたコーパス編纂に関する問題点や、今後の動向に関するお話は、ユーモア一杯の裏話も含めて、非常に興味深い、有意義なものでした。このような企画を可能にして頂いたのは、明海大学小池生夫先生のご厚意によります。本紙上を借りて、厚くお礼申し上げます。なお、当日の講演要旨を会誌『英語コーパス研究』に掲載する予定で、現在、事務局においてテープを transcribe する作業を行っております。Leech 先生の許可が頂ければ、ご希望の会員には、テープの複製と

transcription を実費でお分けしたいと思っております。

大会終了後の懇親会には 25 名の出席があり、特別講演講師の Leech 先生もお招きし、会員同士の交流と情報交換で盛り上がりました。

関東地区では 2 度目の大会でしたが、無事、成功裡に終えることができました。素晴らしい会場を提供してくださった日本大学のご厚意に感謝致します。特に塚本聡大会実行委員には、大変お世話になりました。事務局では事情を全く把握しておりませんでした。実は大会当日、塚本先生が会場準備や、その運営に奔走しておられる最中に、ご尊父がお亡くなりになりました。そのような中で、当日に至るまで数カ月にもわたる準備をして頂き、無事大会を終了できたことに学会員一同心より感謝すると共に、ご尊父のご冥福をお祈り致します。

→目次へ

## 2. 『英語コーパス研究』編集委員会より

『英語コーパス研究』第 7 号 (2000) へのたくさんのご投稿をありがとうございました。論文 4 編, 研究ノート 3 編, 書評 3 編が寄せられ, 現在査読を進めております。

会員の皆様方のご協力をおもなしてよりよい内容のものにしたいと考えておりますので, 引き続きいっそうのご指導・ご支援を賜われれば幸いに存じます。

『英語コーパス研究』編集委員会

→目次へ

## 3. 第 15 回大会の日程と研究発表募集について

◇2000 年度の春の大会 (第 15 回大会) は 4 月 22 日 (土) に山陽学園大学 (岡山市) で開催されることになりました。本年春の四国大学での第 13 回大会に引き続き、春の大会が関西地区を離れますが、JR 岡山駅からバスで 20 分と交通の便も良い所です。是非、今から出張の予定に組み込んで頂きたいと思っております。

◇大会での研究発表を次の要領で募集いたします。発表を希望される方は、下記の要領に従って、郵便または電子メールのいずれかで事務局にお申し込みください。

【応募締切】 1999 年 12 月 15 日（水）

【提出物】 題目と要旨（800?1200 字程度）

【内 容】 本学会にふさわしい、コーパス利用・  
コンピュータ利用を中心に据えた研究

【採否決定】 1999 年 7 月上旬（予定）

【その他】 1. 時間 発表 30 分+質疑応答 10 分

（応募数により短くなることもある）

2. 資格 本学会会員であること

◇シンポジウム、ワークショップなどの企画についてアイデアをお寄せください。ここ 2 回ほど、シンポジウムを開いておりませんので、次回には充実した内容の企画が出てくればと期待しております。

◇なお、今年度より、秋の大会時の運営委員会で、翌年度の秋の大会の開催校も審議、決定することになりました。この時期に、決定しておけば大学により大会補助の申請ができることがその理由です。そこで、来年度秋の第 16 回大会は大東文化大学板橋校舎（東京都板橋区）において 2000 年 10 月 14 日（土）に開催されることになりました。研究発表募集のお知らせは来年 5 月発行の Newsletter の紙上で行います。

→目次へ

#### 4. 会誌『英語コーパス研究』の編集体制と年会費値上げのお願いについて

本学会の会誌『英語コーパス研究』も創刊以来すでに第 6 号まで刊行され、(2)の項目で触れられているように現在第 7 号の編集が進行中です。刊を経るごとに充実したものとなり、重要な学会活動の一部となっています。このように毎年立派な会誌が発行できるのも、実は、代々の事務局、編集委員会体制が出来てからは、編集委員の先生方の並々ならぬ献身的努力があつてのことでした。応募原稿の取りまとめ、審査の依頼、審査結果を応募者に知らせるとともに、更に原稿に手を入れより良くするためのやり取り等の編集委員会本来の仕事のほか、最終原稿を DTP 技術を駆使して版下に仕上げるという、本来なら印刷業者が行う作業までお頼みしておりました。実は、この最終段階の作業がとても大変で、編集委員の先生方には毎年多大な労力と時間を割いて頂いております。

そこで、去る 10 月 8 日に開かれた第 15 回運営委員会で、事務局より「編集委員会の負

担を軽減させ、本来の目的により力を注いでもらうため、版下作りを編集委員会から切り離し、印刷業者に委託する」という提案を行いました。業者に委託すると PDF 化による公開が面倒になるという問題点もあるものの、現状ではやむなしとの結論になりました。そこで、業者に委託するための資金が必要になりますが、その調達に現行の年会費 4,000 円を 1,000 円値上げして 5,000 円とすることも同時に承認して頂きました。会誌第 6 号規模のものを業者に委託、300 部印刷し、ほぼこれで間に合いそうな見積もりになっております。なお、正会員の会費値上げに連動して、学生会費は 4,000 円、賛助会員費は 15,000 円とする予定です。

毎年、春と秋の 2 回の大会開催、会誌発行、4 回の Newsletter 発行が当学会の大きな活動ですが、これらの活動を従来通り継続して行くため、是非会員諸氏のご理解を頂きたいと思っております。

→目次へ

## 5. 東支部設立準備会によるワークショップについて

東支部設立準備委員会では、7 月下旬開催の、関東地区会員増を目的としたワークショップの第 2 段として以下の日程で計画を立てています。新入会員獲得のため是非知り合いの方をお誘い下さい。

### 「第 2 回コンピュータによる英語研究の講習会」

主催 英語コーパス学会東支部設立準備委員会

対象 中高大教員、学部生、院生

内容 コンピュータ利用の基礎講習会

1 部 英語研究とインターネット

2 部 英語教師のためのやさしいデータ

解析入門

今日、言語研究・教育、とりわけコーパス利用には不可欠のコンピュータ利用の講習会を、第 1 回に続いて初心者を対象に開催します。コーパスに関するインターネットの情報検索の方法と、主要コーパスを使った検索の実習と SPSS を使ったデータ解析の入門を目的とします。

費用 無料

日時 平成 11 年 11 月 27 日 (土) 13:00?16:00

場所 大東文化大学板橋校舎 1 号館 402 教室  
板橋区高島平 1-9-1

交通 東武東上線 東武練馬駅よりスクールバス  
都営三田線 西台駅より徒歩 10 分

出席の連絡先 (E-Mail address deleted)

Fax:大東文化大学英語学科

03-5399-7373 (山崎宛明記)

→目次へ

## 6. 名誉会員の登録について

さる 10 月 9 日の第 14 回大会で特別講演の講師を引き受けて頂いた Geoffrey Leech 先生に名誉会員になって頂くことが、大会前日の運営委員会に事務局より提案され、了承されました。大会当日、Leech 先生にも快諾して頂きました。Jan Svartvik 先生、Graeme Kennedy 先生について 3 人目の名誉会員となります。本来なら春の総会に諮って、決定という運びになりますが、タイミングのこともあり、今回は事後了承として扱わせて頂きました。

なお、当日、懇親会の席上で齊藤会長より名誉会員証第 3 号をお渡しする予定で、準備しておりましたが、事務局の手違いで、後日郵送ということになりました。「ランカスターの研究室にどのように飾ろうかと思案している」と Leech 先生より丁寧なお礼のメールを頂いております。学会の雰囲気にもとても好感を持って頂いて、今後いろいろな形でコンタクトがとれればと思っています。

→目次へ

## 7. JAECS-ML について

本年 4 月から JAECS-ML が正式にスタートしています。目的は会員相互の情報交換ならびに、(将来の) 学会事務のペーパーレス化ですが、10 月 8 日に開かれた運営委員会で ML を管理して頂いている園田勝英先生(北海道大学)から、登録者数は 32 名、投稿 10 数通の現状が報告されました。大会時に会長からもお話があったように、会員全員参加体制にしたいと思っていますので、まだ、未登録の会員は是非登録して下さい。4 月からの投稿数が 10 数通では休眠状態ですので、ML 本来の目的である情報交換の場にもっと利用して頂きたいものです。

リストへの登録方法を再掲しておきます。登録には次の Web page を開きます。

<http://lexis.ilcs.hokudai.ac.jp/jaecs.html>

このホームページへの認証は id、password とともに jaecs で行います。「加入申請」を選びますと、氏名、e-mail アドレス、加入取り消し時に必要となるパスワードを尋ねてきますので、指示に従って入力し、この加入申請を submit します。次に、登録確認のための以下の例に示すようなメールが送られてきます。

\*\*\*\*\*

山田 花子 (\*\*\*\*\*@ilcs.hokudai.ac.jp) 様

これは、<http://lexis.ilcs.hokudai.ac.jp/jaecs> において Mon Apr 12 01:57:43 GMT 1999 になされた加入手続きに基づいて機械的に出されたメールです。

もし加入手続きを行わなかったにもかかわらず、このメールを受け取っているときには、メーリングリストの管理係りへご一報下さい。(連絡先は本メールの末尾を参照下さい。)

加入手続き時に入力された内容は以下の通りです。

氏名 (漢 字) : 山田 花子  
(カ ナ) : ヤマダ ハナコ  
(ローマ字) : Yamada Hanako  
配 送 先 : xxxx@ilcs.hokudai.ac.jp  
パスワード: hanako

パスワードは加入取消、配送先変更(、将来は投稿ログからの投稿の削除)に必要となりますので忘れないようにしてください。

本メーリングリスト(JAECS-ML)は、日本英語コーパス学会の事務的連絡をはじめ、英語コーパス言語学に関連する情報交換を目的として設置されています。投稿はメーリングリストのメンバーに限られています。投稿宛先はつぎの通りです。

[jaecs-ml@lexis.ilcs.hokudai.ac.jp](mailto:jaecs-ml@lexis.ilcs.hokudai.ac.jp)

配送先変更あるいは加入取消はつぎのウェブページで行って下さい。

<http://lexis.ilcs.hokudai.ac.jp/jaecs.html>

それ以外の変更、問い合わせは、下記の当学会メーリングリスト係りへ連絡ください。

JAECS-ML 担当 園田勝英 (Sonoda Katsuhide)

北海道大学言語文化部, 〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目  
(E-Mail address deleted) Phone 011-706-5375 (研究室)

\*\*\*\*\*

以上で、登録が終了します。

→目次へ

## 8. JAECS ロゴタイプの決定について

昨年の秋より募集しておりました JAECS ロゴタイプに御応募ありがとうございました。3 名の方より 7 件の応募があり選考をすすめてまいりましたが、10 月 8 日の運営委員会において、出席した運営委員全員の投票により決定させて頂きました。採用されたロゴは押本信夫さん（株式会社アシックス デザイン部所属）によるものです。今回の Newsletter には間に合いませんでしたが、今後、学会のホームページや、公式文書にも使用させて頂きま

→目次へ

## 9. 新入会員紹介（住所・電話番号は、郵送されるニューズレターをご参照ください）

JAECS Newsletter No. 26 発行以降の新入会員の方は次の通りです（10 月 5 日現在、敬称略）

<一般会員>

秋山 孝信（ランカスター大学 S）

(E-Mail address deleted)

井面（いのも）雄次（(株) 小学館）

(E-Mail address deleted)

加藤 豊裕（島根大学 S）

(E-Mail address deleted)

渋谷 彰久（常葉学園大学）

(E-Mail address deleted)

清水 眞 (東京理科大学)

(E-Mail address deleted)

須部 宗生 (静岡産業大学)

(E-Mail address deleted)

中村 洋一 (徳島大学S)

(E-Mail address deleted)

藤村 聡子 (山形大学S)

(E-Mail address deleted)

星野 守 ((株) 小学館)

(E-Mail address deleted)

松中 完二 (国際基督教大S)

(E-Mail address deleted)

三村 浩一 (帝塚山学院泉ヶ丘高校)

(E-Mail address deleted)

谷塚(やつか) 尚美 (東洋学園大学S)

(E-Mail address deleted)

→目次へ

10. 名簿の訂正のお願い (住所・電話番号の変更は、郵送されるニューズレターをご参照ください)

会員名簿の記載内容に訂正がございます。以下のようにご訂正下さい。

◇氏名変更

佐藤 東悟 → 佐藤 剛

◇住所の変更

遠藤 裕昭  
酒井 成夫  
中 則夫

◇電話番号訂正・変更

水谷 洋一  
佐藤 剛

◇郵便番号訂正

田島 松二

◇E-mail アドレスの変更

青木 恵 (E-Mail address deleted)  
飯塚 利昭 (E-Mail address deleted)  
神谷 昌明 (E-Mail address deleted)

→目次へ

## 11. 事務局から

◇会費納入のお願い

1999年度会費（一般 4,000 円、学生 3,000 円）未納の方には郵便振替用紙を同封致しますのでお納めください。郵便局発行の受領証をもって領収書に代えさせていただきます。

1998年度会費未納の方は、1999年度分と合わせてお納めください（振替用紙にその旨記しております）。行き違いになりました場合は、何とぞご容赦ください。2年続けて会費未納の場合、JAECS Newsletter 等の送付を中止させていただきます。

住所、所属等に変更や異動のある方は、必ず通信欄にお書き添えください。

→目次へ

◇その他

事務局では、シンポジウムやワークショップの企画・アイデアを随時募集しております。最近ワークショップの内容がマンネリ化してきているとの意見もあり、新しい企画が待たれます。英語コーパス学会の大会プログラムとしてふさわしい内容のものがありましたら、どしどしご提案ください。

FORUM 欄への投稿もお待ちしております。海外の学会・研究の動向、新刊・近刊図書の紹介、身近なコーパス研究のエピソード等でも結構ですのでお寄せください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

→目次へ

## FORUM

### ◆ Tuscan Word Center のセミナーに参加して

四国大学 古田八恵

E-mail: (E-Mail address deleted)

英語コーパス学会第14回大会の翌日、成田を出発し、10月12日から17日までの日程で、もとCOBUILDの編集主幹John Sinclairの主催するTWC (Newsletter No.24で紹介されている)でのセミナーに出かけた。しばらく海外に出ていなかったこと、まだ足を踏み入れたことのないイタリアで開催されていること、corpusを実際にどのように授業に利用できるかについてあまり理解できていないことなどの理由で、思い切って参加したわけである。

イタリアのフィレンツェから車で1時間のペラノの丘にあるTuscan Word Centerで開

かれた今回のセミナーには総計 25 名の参加があった。Ph. D.を目指す若い 20 代の学生から年配の大学の先生方や公的機関で働く研究者まで参加者層は幅広く、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、スペイン、ポルトガル、アイルランドからはそれぞれ 2 名ずつ、チェコからはグループで 7 名、イスラエル、エストニア、ハンガリー、日本からは 1 名ずつ参加していた。

“How to Design Corpora and Access Software” という今回のメインテーマの下で、Professor Sinclair が “Working on Corpus Tasks,” “The Differentiation of Meaning,” “Phrase Building,” “The Lexical Item,” のタイトルで、奥さんである Professor Tognini Bonelli が “Theory of Corpus Linguistics,” “Units of Meaning across Languages,” “Applications: Language Teaching,” 現在も縮小した COBUILD のスタッフである Jeremy Clear 氏が “Computational Aspects of Corpus Design” などの講義をそれぞれ担当した。コンピュータに直接手を触れるための hands-on session も一日に 2 回ずつ組み込まれ、理論面と実際面をカバーした充実したプログラムであった。さらに夕方 6 時半から 7 時半まで参加者有志による研究中のテーマについての presentation があり、大きなプロジェクトとして “チェコ語コーパスの作成” “イスラエル語コーパスの作成” など、主としてコーパス作成についての発表があった。

Professor Sinclair のコンコーダンスラインにおける context の様々な読み方は、今まで見えなかった lexical and lexico-grammatical patterning が見えてきて大変おもしろく興味深いものであった。取り上げられた言葉は、このような特徴が明白に表れるものが使用され、特に learners of English が問題とする言葉というわけでは無いものの、コーパスの使用法を的確に捉え、おおいに参考になった。これらの exercises は web 上でも入手可能で、ぜひ一度お試しください (<http://www.twc.it/handson.html>)。

2000 年度の TWC の予定は 4 月に Prof Stig Johansson を招き一般的なコーパス研究について 2 コース、6 月に Bill Louw 氏を招いて文学に焦点をあてたコース、10 月は lexicography をそれぞれ予定しているとのことであった。時間に余裕のある先生方にはぜひ参加をお薦めします。詳しくは (<http://www.twc.it>) をご覧ください。

また、滞在中は毎晩、ツアーでは味わえない本物のイタリア料理とワインを満喫し、和気あいあいとした雰囲気の中で、全員が楽しく交歓できたことを付記しておきます。

→目次へ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆